

地域の魅力発見



越冬中の鳥も多数飛来しており、夏とは違った種類も見られるかも。遠くは、ロシアのカムチャッカから飛来してくる渡り鳥もあり、毎年3月頃までここで冬を越します。

「伊丹市昆陽池公園」

～冬景色編～

昆陽池は1200年もの歴史があり、さまざまな野鳥が飛び交い、街の中のオアシスとして人々に親しまれています。今回は、昆陽池とその周囲に広がる昆陽池公園を紹介します。



空気の澄んでいる冬は、天気が良ければ、いつもよりはっきりと風景を見ることが出来、六甲山地から長尾山までを一望出来ます。



環境学習体験として、公園内の樹木も、「こも巻き」を実施中。春を迎える準備は万端です。これも、冬ならではの光景ですね。



ふるさと小径等、公園内ではたくさんの方がウォーキング、ジョギングを楽しんでいます。寒い冬の日も、体を動かせばすぐにポカポカです

そんな魅力ある昆陽池公園に
みなさんも訪れてみてはいかがでしょうか！

街を知る、地域を知る

MY TOWN

猪名川
宝塚 川西
三田 伊丹

2012年 3月 vol.20



写真 国道176号 広野バイパス(加茂工区) 加茂大橋渡り初め式(平成23年11月6日)

内容

ごあいさつ～MY TOWN 第20号発刊に寄せて～
都市計画道路尼崎宝塚線【寺本工区】が完成しました
第3回パークイルミネーションinさんだ ～希望の光をさんだから～
国道173号 橋梁補修補強事業
地域の魅力発見『伊丹市昆陽池公園』～冬景色編～

兵庫県 阪神北県民局 宝塚土木事務所

MY TOWN

発行日/2012年3月
発行/兵庫県阪神北県民局 宝塚土木事務所
〒665-8567 兵庫県宝塚市旭町2丁目4番15号
TEL 0797-83-3101(代表)
FAX 0797-86-4329
E-mail:takarazukadoboku@pref.hyogo.lg.jp

ごあいさつ

～ MY TOWN 第 20 号発刊に寄せて～

兵庫県阪神北県民局宝塚土木事務所 所長 森口昌仁

宝塚土木事務所の広報誌「MY TOWN」をお読みいただき、ありがとうございます。

私ども宝塚土木事務所は、阪神北県民局管内の伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町において、県の管理する道路や河川・砂防施設、公園などの整備や維持管理を行っています。

この広報誌「MY TOWN」は、宝塚土木事務所の日常の業務や関連するタイムリーな話題を住民の皆様にお伝えすることにより、土木事務所の組織や業務内容をご理解いただくことを目的として、今から10年前の平成14年に創刊しました。

以来、土木事務所の職員が企画編集を行い、冊子のスタイルや構成もその時々で工夫し、版を重ねて、このたび第20号を発刊する運びとなったものです。

今年は大正元年から数えて100年目に当たりますが、宝塚土木事務所のルーツはこれより古く、明治32年に兵庫県が逆瀬川の砂防工事を実施するため、宝塚市に良元工営所を設置したことに始まります。

以来、逆瀬川その他、武庫川における大正～昭和の一次改修、昭和～平成の二次改修、宝塚駅前整備や道路・街路事業など様々な社会基盤整備が進められてきました。

「MY TOWN」を発行した10年前の平成14年度は、阪神・淡路大震災からの復旧・復興事業が様々な分野で完成を見つつあった頃で、創刊号の表紙には大震災以降の武庫川の二次改修の進捗の様子が震災直後の写真とともに並んで紹介されています。

よく「10年一昔」と言いますが、その後の社会状況の変化は著しいものがあり、社会基盤整備の考え方も大きく変わりつつあります。

特に、高度経済成長期に整備を行った橋梁やポンプ場などの多くの公共施設が更新や大規模な補修の必要な時期を迎えており、厳しい社会経済情勢の中、限られた予算やマンパワーをいかに効率よく活用し、地域の安全や安心を確保しつつ、住民の皆様の快適性や満足度を高めるかが大きな課題となっています。

さらに、気象、地象などの自然現象においても大きな変化が生じており、ゲリラ豪雨や集中豪雨の頻発、想定を越える地震や津波の発生などにより、これまでの想像を大きく越える災害が発生しています。



昨年の東日本大震災は日本の観測史上最大となるM(マグニチュード)9.0を記録しましたが、世界的に見ると観測史上4番目となります。チリ・1960年、アラスカ湾・1965年、スマトラ沖・2004年などいずれも地震多発地帯である環太平洋地域でM9以上の地震が発生しています。特に日本ではM3以上の地震が年間約5,100回、被害が生じる可能性が高いM6以上の地震が年間約20回程度発生し、M8以上の地震発生確率は10年に1回程度と想定されています。

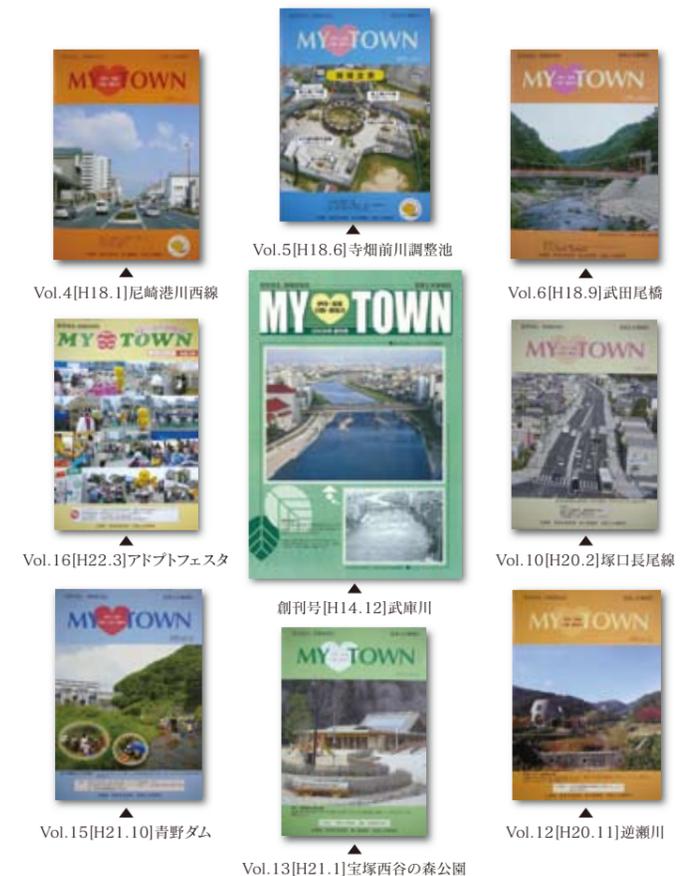
この他、台風災害では平成16年には観測史上最大となる本土への上陸数(10台風)を記録したほか、平成21年の台風9号では佐用町で観測史上最大の24時間雨量326.5mm、1時間雨量81.5mmの降雨が発生しています。また、昨年の台風12号では、県下の152観測所のうち47観測所で既往最大の雨量を観測しました。

このような降雨は県下のどこの地域でも発生する可能性があり、地震も含めて、今後の防災にはこれまで想定外であったような事態が起きることを想定していく必要があります。このため一定のレベルまでは社会基盤整備をしっかりと進めて、その先については、生じる被害を少しでも小さくする減災対策が重要となっています。

ともすれば、地域の皆さんの日常生活の中でなじみの薄い「県の仕事」や「土木の仕事」をご理解いただくとともに「減災」について皆様と協力して取り組んでいけるよう、今後もわかりやすい情報の提供、親しみやすい紙面作りに努めていく所存です。

「MY TOWN」をお読みいただき、お気づきの点やご意見、ご要望がございましたら、是非、ご一報いただければと考えております。

引き続き、宝塚土木事務所の広報誌「MY TOWN」をご愛読いただきますよう、よろしくお願いたします。



～都市計画道路尼崎宝塚線 【寺本工区】が完成しました～

宝塚土木事務所では、尼崎宝塚線や伊丹飛行場線等の都市計画道路において、道路拡幅や電線共同溝の整備を進めています。

このうち、平成12年から事業を進めてきた尼崎宝塚線【寺本工区】(伊丹市池尻1丁目から池尻3丁目までの995mの区間)の道路拡幅及び電線共同溝の整備が平成24年1月30日に完成しました。

寺本工区の完成に伴い、宝塚市安倉西1丁目から伊丹市池尻1丁目までの3,365mの区間が4車線両側歩道の道路になりました。

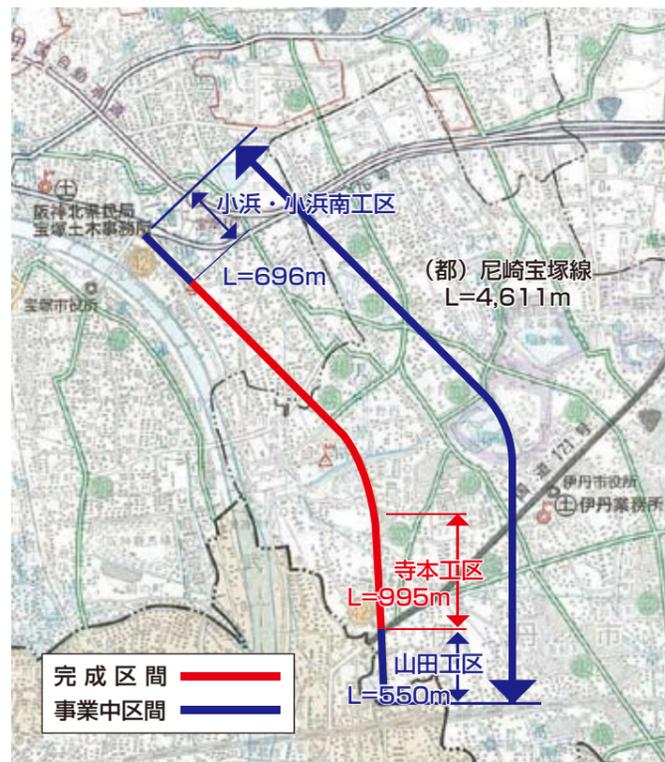
引き続き、渋滞の緩和による円滑な交通の確保や、歩行者自転車の安全性の確保を図ることを目的として、残る伊丹市の山田工区、宝塚市の小浜南工区、小浜工区において、早期完成を目指して整備を進めています。

また、今回完成した寺本工区においては今後電線類の地下施設への入線を行った後、電柱の抜柱を行います。

完成断面図



位置図



着手前



完成



第3回パークイルミネーションinさんだ ～希望の光をさんだから～

兵庫県立有馬富士公園「休養ゾーン」では、平成23年12月10日(土)～23日(金・祝)の14日間にわたり「第3回パークイルミネーションinさんだ」を開催しました。開催期間中は、休養ゾーン芝生広場及び三田市有馬富士共生センター周辺でのイルミネーションの展示をするとともに、地域の幼稚園や学校団体等と連携したコンサート等イベントの開催、屋外テントで食べ物の出店を行ないました。期間中の来場者数が約二万人と大盛況のうちに閉幕しました。

目的

パークイルミネーションinさんだは、有馬富士公園休養ゾーンの活性化や知名度向上等を目的として開催しています。企画・運営は、三田市観光協会や地域住民らが中心となって構成する「パークイルミネーションinさんだ実行委員会」により行っています。平成21年度から開催しており今回で3回目を迎え、有馬富士公園はもとより、三田市の冬のイベントとして好評を博しています。



共生センター前のイルミネーション



廃油キャンドルを使った行灯の通路



自転車発電によるイルミネーション



屋外テントでの食べ物の販売の様子

今開催では、東日本大震災による関西電力からの節電要請に応えるべく、従来のイルミネーション展示に加えて、自転車を使った自家発電によるイルミネーション、太陽光発電によるイルミネーション、廃油キャンドルを使った行灯の展示を行いました。

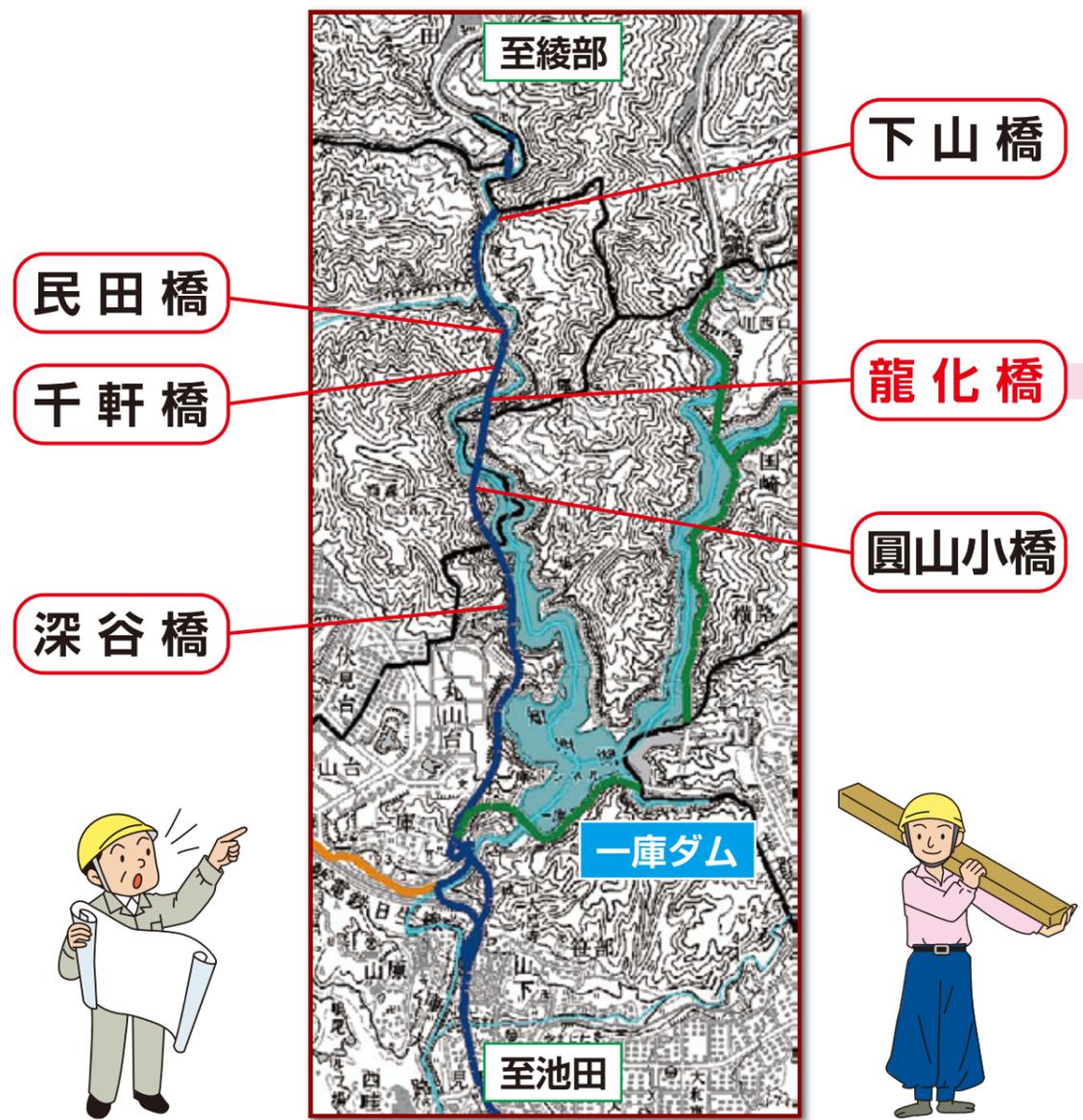
また、会場では期間中被災者への募金活動も実施し4万円を超える募金が集まりました。

国道173号 橋梁補修補強事業

今回は、国道173号で現在進行中の橋梁補修補強事業を紹介します。

この道路は、大阪府池田市と京都府綾部市を結び、大型車の交通量が多い国道です。この路線でよく見かける大型車のナンバーは、なんと「札幌」！フェリー乗場がある舞鶴港へ向かっていると思われます。つまり、物流の重要な路線であるということになります。また、川西市一庫から猪名川町民田までの区間は、昭和50年代に一庫ダム建設に伴う付替道路として建設され30年が経過しています。この30年で、道路に架かる橋も少しずつ傷んできており、また橋を建設する時の設計基準もこの間で変わってきていることや地震への対応などを図るため、平成20年度から橋梁補修補強工事を順次進めています。

橋梁補修補強工事の対象橋梁



今回は、現在工事中の龍化橋（りゅうかばし）の状況を写真でご紹介します！

龍化橋は民田トンネルと龍化トンネルに挟まれた橋梁で、橋の長さは73.9m。トラスと呼ばれる構造などで構成されています。

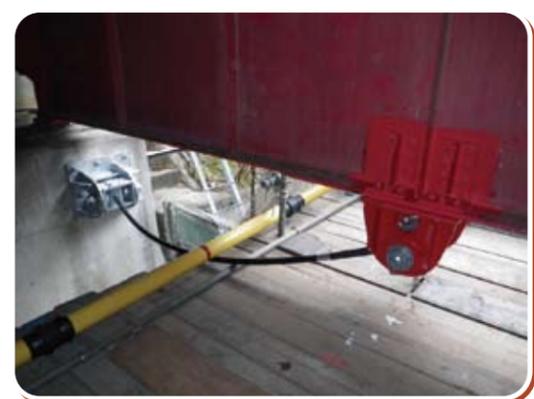


今年1月5日に雪化粧した龍化橋



あて板補強で耐震性アップ！

橋の鋼材を補強するため、新たな鋼材をボルト締めして厚さを増やす「あて板補強」や、大規模地震時に橋が落ちないように「落橋防止装置」と呼ばれる装置を設置しています。



落橋防止装置



塗装も経年劣化が進んでいます！

工事中、道路規制など、ご迷惑をおかけいたします。何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。

